

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 15 日

事業所名 帯広あおぞら

| | | チェック項目 | はい | いいえ | どちらとも いえない | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標 |
|-------------|---|--|----|-----|---------------|---|----------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 10 | 0 | 1 | | 国の定めた設置基準の部屋数になっていません。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 11 | 0 | 0 | | 保護者の方に分かりやすいように提示します。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 11 | 0 | 0 | 一部バリアフリーではないですが、子ども達が生活しやすいように工夫していきます。 | 危険がないような対策を考えていきます。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 10 | 0 | 1 | 朝・夕の清掃・感染対策を、行います。 | 感染症のこともあり、清潔で、心地よく過ごせる環境を意識します。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 10 | 0 | 1 | 毎朝、前日の振り返りを行います。 | 職員が気付いた点を共有し、改善していきます。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 11 | 0 | 0 | | 日常から、ご意見を頂き、改善を図りたいと思います。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のおたよりやホームページ等で公開している | 11 | 0 | 0 | | 今後も自己評価を行い、ホームページで公開していきます。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 11 | 0 | 法人内の事業所からの意見をもらってます。 | 本年度は、振興局の運営指導を受けました。指導事項はありません。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 11 | 0 | 0 | | 幅広い分野での研修会参加を考えています。 |

| | | | | | | | |
|----------|-------------------------------------|--|----|---|---|----------------------------|-------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している | 11 | 0 | 0 | 普段の話から、発達を押さえていくようにします。 | 今後も丁寧にアセスメントを行い、個別支援計画を作成していきます。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 11 | 0 | 0 | アセスメントツールを職員で共有化していき | 今後も継続していきます。 |
| | ⑫ | 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 11 | 0 | 0 | 具体的な支援の検証を行っています。 | 個別支援計画の立て方について、今後も職員間で勉強していきます。 |
| | ⑬ | 個別支援計画に沿った支援が行われている | 11 | 0 | 0 | 職員同士、共有化し、見直します。 | 経過の中で見直していきながら進めます。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 11 | 0 | 0 | 全クラスで、見直しを行い、活動内容を考えます。 | 今後もクラス会議等でプログラムの立案を行っています。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 10 | 0 | 1 | 日々の見直しを意識して、行います。 | 今後も固定化しないように子どもの状態に合わせて工夫していきます。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成している | 11 | 0 | 0 | 発達に合わせた支援で、活動内容を考えます。 | 今後も工夫しながら作成していきます。 |
| | ⑰ | 支援開始前には、その日行われる支援の内容や役割分担について、職員間で確認している | 11 | 0 | 0 | | 活動の様子を想像しながら、大人の動きを決めていきます。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有している | 11 | 0 | 0 | | 毎日、振り返りができるように意識しあっています。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 11 | 0 | 0 | 記録をもとに、クラスで話ができるような記載をします。 | 支援の検証・改善に繋がっていくように、記録の取り方を工夫していきます。 |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している | 10 | 1 | 0 | | モニタリングを意識し、見直していきま | |

| | | | | | | | |
|--------------|---|--|----|---|---|--------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 11 | 0 | 0 | | 時間調整をし、クラスの職員が参加していきます。 |
| | ㉑ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 11 | 0 | 0 | | 必要時に応じて、連絡するよう、心がけていきます。 |
| | ㉒ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 11 | 0 | 0 | | 必要に応じて行います。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 11 | 0 | 0 | | 必要に応じて行います。 |
| | ㉔ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 11 | 0 | 0 | 必要に応じて連絡を取っていきます。 | 以前の所属機関から情報を具体的にいただきます。 |
| | ㉕ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 11 | 0 | 0 | | 今後も継続して行っています。 |
| | ㉖ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 11 | 0 | 0 | | 今後も継続して行っています。 |
| | ㉗ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 11 | 0 | 0 | 日々の中で行います。 | 保育所との複合施設でもあるため、交流の場を活用しています。 |
| | ㉘ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 11 | 0 | 0 | | 今後も参加をしていきます。 |
| | ㉙ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 11 | 0 | 0 | 日ごろから、話してできる環境を意識して作ります。 | 参観日・行事を通して確認する時間を作ります。 |
| | ㉚ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っている | 4 | 3 | 4 | 必要に応じて、取り組んでいきます。 | 日々の中で家庭でも行っていけることを提示していけるように、心がけていきます。 |

| | | | | | | | |
|------------|----|--|----|---|---|---------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 9 | 0 | 2 | 貼り出しや、おたよりを活用します。 | 変更する時には具体的に説明するように心がけていきます。 |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている | 10 | 0 | 1 | | 今後も保護者の意向を丁寧に聞き取り、個別支援計画に同意して頂けるよう努力していきます。 |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | 0 | 3 | 話しやすい、内容を考えていきます。 | 保護者の方が話せるような環境を設けていきたいです。 |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 11 | 0 | 0 | 趣旨などを重ねて発信していきます。 | 父母会の活動は支援しています。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 9 | 0 | 2 | 話の場を設けられるようにしていきます。 | 保護者の方の気持ちに沿っていただけるように努力します。 |
| | ③⑦ | 定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 11 | 0 | 0 | | 今後も情報をわかりやすく発信していきます。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 11 | 0 | 0 | | 今後も継続して行っています。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 11 | 0 | 0 | | 今後も継続して行っています。 |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 11 | 0 | 0 | | 運動会・お遊戯会を通して参加していただきました。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|
| 非常時等の対応 | ④1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 9 | 0 | 2 | より分かりやすく、行ったことを、情報発信していきたいと思います。 |
| | ④2 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 11 | 0 | 0 | 今後も継続して行っていきます。 |
| | ④3 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 11 | 0 | 0 | 具体的に確認させていただき、把握していきます。 |
| | ④4 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 11 | 0 | 0 | |
| | ④5 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 11 | 0 | 0 | |
| | ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 11 | 0 | 0 | 月に1回虐待防止委員会を行っています。 |
| | ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している | 11 | 0 | 0 | 身体拘束をする必要がある対象児がない為、記載する必要が無く、どちらともいえないという回答になったと思われます。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所で子どもの担当者が行った自己評価です。

*今年度はコロナ禍の中、行事や保護者と共に行うものはほとんどが規模縮小や中止にせざるをえなかったり、職員の研修なども中止になったことが多く思うようにいかないことが多い1年でしたが、来年度も「できないと諦める」のではなく、「どうやったらできるのか」工夫しながら、帯広あおぞらの療育を見直し、より良い支援ができるように職員皆で研鑽を積んでいきたいと考えています。